

2020年 5月 29日

## 協力活動報告書（令和2年 5月分）

清水町長 様

清水町地域おこし協力隊員

氏名 伊藤 隼 印

今月の活動報告	<p>5月1日より、北海道清水町地域おこし協力隊として働いております、伊藤隼と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>今回は、ふるさと納税でご協力いただいている「十勝アルプス農場/橋本牧場」さんと「美蔓めん羊牧場」さん、地域とつながる意味も込めて「3丁目広場」にも、挨拶を兼ねて研修に参加させていただきました。</p> <p>十勝アルプス牧場/橋本牧場の研修について</p> <p>日時 5月7日、8日</p> <p>今回、お手伝いをさせていただいた内容は主に『搾乳』業務です。朝5時30分。準備を済ませて、搾乳が行われる場所で牛が来るのを待っていた私がまず圧倒されたのは、牛の威圧感です。恥ずかしながら生まれて今まで、触れ合った動物は犬や猫くらいで、大きな動物は動物園で遠目に見るくらいでした。そんな私にとって、ほんの数センチの距離にいる牛は威圧感がすごく、正直「恐怖心」で一杯でした。突っ込んで来たらどうしよう。逃げられない。顔が怖い。それが彼女たち（牛さんです）との初対面でした。</p> <p>橋本さんは、ご夫婦と息子さんの3名でお仕事をしており、皆さんに優しく搾乳の方法をレクチャーしていただきました。牛の乳頭をきれいに拭き取り、軽く手で絞ってから、搾乳機を取り付ける。絞り終えたら、乳頭を消毒し、次の牛を迎え入れるというものです。</p> <p>恐怖心で一杯だった私に、「牛に触れる」というのはものすごくハードルが高く、「これ大丈夫か？蹴られないか？牛、怒らないか？いや、むしろすでに怒ってるでしょ。絶対怒ってる。」などと困惑していましたが、実際行ってみると、牛にとって搾乳は毎日のことで落ち着きがあり、無事作業を終えることができました。「牛が驚くようなことはしない。」そのことを心がけていれば大丈夫とアドバイスしていただき、本当に助かりました。</p> <p>次に行ったのが、『放牧』です。搾乳が終わり、牛たちを広い草原に「放牧」させました。与えている牛の餌のほかに、緑生い茂る草（もちろん長年の経験から、しっかりと管理・計算されているもの）を与え、栄養バランスを考えた食事を与えることで、牛の健康状態を良質なものに保っているということです。草の状態を把握し、十分な量が牛たちに当たるように場所を変えていて、私たちが当たり前に行っている牛乳やチーズ、バターはこういった細かな配慮によって届けられているんだと改めて感じることができました。</p> <p>他にも、糞の掃除や、牛に与える牧草の準備などを手伝わせていただき</p>
---------	---

ましたが、自然や生き物を相手にするというはとても大変で、責任ある仕事だと、身をもって体験することができました。

特に印象的だったのは、「健康に育てる」「安心安全なものを与える」ということです。それが消費者の安心につながるから、それには手を抜かない。とおっしゃっていたことです。

### 美蔓めん羊牧場（田中さん）の研修について

日時 5月18日19日

美蔓めん羊牧場さんでは、羊のお世話をさせて頂きました。（当然ですが、ラーメン作りではなかったです。気になる方は美蔓亭で検索してみてください。）

牛を経験しているおかげで、羊への恐怖心は少なく、最初から「かわいい」と感じる心の余裕を持ち合わせて臨むことができました。

私はここで飼育されている羊しか見たことがないので、正直に言うと他との差がわからなかったのですが、こちらの羊たちは大きく育っている羊であるということです。

先日の橋本さんもおっしゃっていましたが、やはり一番大切にされていることは「健康に育てること」だそうです。栄養が摂れる食事、適度な運動（放牧している姿は気持ちよさそうでした。）健康状態のチェックなど、本当に「健康に育てる」ことの大切さを二つの牧場で学びました。

また、羊を扱う牧場が実は少ないということに驚きました。大変勉強不足で申し訳ないのですが、『北海道といえばジンギスカン！！』なんて声を大にして言っていた私は、当たり前のように北海道にはたくさんの羊がいると思っていましたが、オーストラリアやニュージーランドや中国などに比べると全然少なく（もはや比べてはいけないレベルで桁が違う感じでした）無知にもほどがあったなと猛省しております。

北海道での飼育数が少ないということは、それだけ羊に対する知識や経験の数が海外に比べて少ないということです。（各羊牧場さんが未熟であるという意味ではなく、日本全体の経験値が海外の経験値に比べて少ないという意味です。薬の数とか、病気になったときの獣医さんの知識などが顕著に表れるそうです。羊の病気の発症例やらトラブルの数が多いほど、経験値が上がりますが、それは当然、飼育数が多いほうが多くなるということです。）

なので、「毎日が試行錯誤の連続だよ。大変だけど面白いよ。」と話していた田中さんの顔は、本当に楽しそうで、羊が好きなんだなと感じました。そんな牧場で育った羊はうまいわけです。（私も食べましたが、とっても美味しかったです。）

他にも毛刈り体験もしましたが、書き始めると止まらないので、別の機会に報告したいと思います。

### 3丁目広場さんの研修について

最後に3丁目広場さんでの研修でしたが、研修といたしますか、お仕事のお手伝いに行きました。

とにかく忙しそうでした。開店と同時にお客さんがいらっしゃるのですが、一人であれもこれもされているので、とにかく店長さんは動き回ってました。忙しいときは会員さん（農作物や山菜、陶器などを3丁目広場さんに卸している方）が手伝いに来ることで運営していました。

	<p>       ここでお手伝いさせていただいていると、いろんな方に声をかけて頂き、まさに『地域密着型店舗！！』という印象を受けました。清水町で採れたものがたくさん並び、引っ越してきたばかりの私は、「清水産」を頂くことができる貴重なお店でした。まさに地産地消のお店です。並ぶ野菜も季節ごとに代わるので、四季と自然の恵みを感じながら、今後も手伝いを継続していき、清水町について学んでいきたいと思ひます。     </p> <p>       これから地域おこし協力隊として、ふるさと納税の業務をメインに進めていきますが、単に事務作業を遂行していくということではなく、愛情を持って育て、提供している事業者の方と清水町のふるさと納税を利用してくださる利用者の方が共に満足できるように、架け橋として尽力していきたいと思ひます。     </p>
<p>要望、意見等</p>	
<p>備 考</p>	